

# 決算認定議案の審査より

9月定例会では昨年度の予算が適正に執行されたか、その過程や結果について議会がチェックをする決算認定案の審査を行い、いずれも認定されました。

委員会でのどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

## 総務委員会

### 基金積立金

**問** 基金の不足はないとのことですが、長引くコロナ禍による税収減により、修繕費用が削減され、市民の安全性、快適性の低下が懸念されますが公共施設の維持管理は、どのように考えていますか。

**答** 学校や公民館など各施設は、長寿命化計画を立て、基金の活用などにより適切な時期に大規模修繕・更新を行い、予防修繕・予防保全により適切な維持管理に努めます。

### 自治振興推進事業

**問** 地域担当職員配置地域数について、目標値22地域に対し、実績は19地域でしたが、どのような要因がありましたか。

**答** 希望される地域に職員を配置し地域活動を支援する制度で、未配置の3地域に市民協働課から働きかけました。配置には至らず、目標値に結びつきませんでした。

### 多文化共生推進事業

**問** どのような成果が出てきていますか。また、課題をどのように捉えていますか。

**答** 外国籍市民の相談について、利用された方が属する独自のコミュニティを通じ相談窓口が周知され、相談件数が増加しています。一方で、相談内容から課題解決に繋がる施策へ如何に反映していくか、という点が課題であると認識しています。

### 感震ブレイカー設置促進事業

**問** 目標値500件に対し、実績が6件という結果をどのように捉えていますか。

**答** 市報やホームページ、チラシの配布などPRを行いました。6件の申請に留まりました。感震ブレイカー設置について、チラシのポスティングを行い周知に努めるとともに、設置補助金については検討する必要があると考えています。

### 市立半田病院

**問** 収益的収支について、純利益約8億円の要因は、空床補償補助金が増加したとありますが、その仕組みと収支状況については、どのよ

うに考えていますか。

**答** コロナ患者用に、病床を空床にして確保するもので、令和3年度は、補償額が約6億円となったものです。また、空床補償補助金や市からの繰入金を含まない修正医業収支比率は、100%で、県内では半田病院のみが黒字となり、経営状況は、非常に安定していると考えています。

【総務委員会 決算審査の様子】



## 文教厚生委員会

### 地域福祉推進事業

**問** アウトリーチ継続的支援事業について、切れ目のない支援のために教育機関との連携はどのように実施しま

したか。

**答** 半田中学校ではコミュニケーションソーシャルワーカーが学校の会議に出席し、スクールソーシャルワーカー他学校関係者との連携を行っており、今後は他の学校とも連携を図っていきます。

### 民間保育所運営事業

**問** 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金について、この補助金により加算される賃金は一人あたりの程度の金額になりますか。

**答** この補助金は、民間保育所で働く保育士等の収入を3%程度引き上げるもので、一人あたり月額で9千円程度です。

### 妊産婦家庭サポート事業

**問** 妊産婦家庭サポート支援員の令和3年度中の利用実績が5名で大変少ない。実績が伸びなかった要因と、利用促進のための検討は行いましたか。

**答** この事業は事前申請制であるため、申請はされるもの実際には利用がない場合が多いことも実績が伸びなかつた要因の一つです。今後は、保健師が相談を受ける際